

インフォメーション

春夏製品のご案内



こてっちゃん コク味噌味



こてっちゃんの美味しさのポイントは、クセになるコクと旨みです。
3種類の味噌を使った合わせ味噌、ローストガーリックを使用したコクの深いたれで仕上げました。

リニューアル こてっちゃん 旨み醤油味



ごはんによく合う旨みの効いた醤油味のこてっちゃんです。
本醸造醤油と焦がし醤油を使用した深い旨みが特長です。また、ローストガーリックを使用する事で、コクと深みのある味に仕上げました。
玉ねぎ等の野菜と炒めていただくだけで野菜炒めが出来上がります。

新発売

こてっちゃん 旨辛コチジャン味



コク・旨みが特長の「韓国産コチジャン」を使用し、にんにくとごま油で旨みのきいた味に仕上げました。
コクのある辛さがビールのおつまみはもちろん、ごはんのおかずにもピッタリです。



リニューアル&新発売

下味をつけた牛もつと、調理ソース・別添香油をセットにしました。
キャベツ・玉ねぎと一緒に炒めるだけで牛もつ炒めが出来上がります。

株主ご優待のお知らせ

エスフーズが株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

- ◎2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」
- ◎500~1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社グループ製品」
- ※上記の国産牛肉（豚肉）および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

- ◎100株以上保有の株主さま一律「自社グループオリジナル商品特別販売」
- ※6月、11月に対象株主さまにカタログをお送り致します。

国産牛肉（和牛） 弊社が厳選した国産牛肉の逸品。しゃぶしゃぶ、ステーキいずれか、株主さまのご指定のカットでお届けします。



しゃぶしゃぶ



ステーキ

※写真はイメージです。料理写真の野菜、什器等はご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業 (グループ)

株式メモ

■事業年度	3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■電話照会先	電話 ☎0120-782-031 (通話無料)
■インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html <small>(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)</small>
■単元株式数	100株

【特別口座の口座管理機関変更のご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
<http://www.sfoods.co.jp/>



SFoods News

平成30年2月期

平成29年3月1日～平成30年2月28日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況についてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、好調な企業業績や堅調な個人消費に支えられ全般的には景気回復基調にあったと思われれます。しかしながら、世界的に保護主義の広がりが見られることなど、予断が許されない状況であります。食肉業界においては、原材料費や流通経費の値上がり、雇用状況の変化など、経営環境が流動的であり、変化への対応力が問われております。

このような状況において、当社グループは、企業の安定的発展を進めるため、食肉の生産から小売・外食までの食肉に関わる事業を一貫して取り組む垂直統合を事業戦略として推進してまいりました。

食肉等の製造・卸売事業においては、第一に食肉原料の調達力の強化及び拡大に力を注いでおります。ブランド戦略としては北海道の豚肉ブランド「ゆめの大地」、米国的高级牛肉ブランド「オーロラビーフ」などの基盤整備、強化及び販売促進に取り組んでまいりました。



ゆめの大地



AURORA ANGUS BEEF
Fresh from the Midwest

また、新たに平成29年10月に鶏肉事業を行う日鶏食産株式会社をグループ化し、鶏肉事業の強化にも努めてまいりました。製品事業では、定番商品である「こてっちゃん」や「こてっちゃん牛もつ鍋」などの販売基盤を強化し、株式会社フードリエを中心に、ハム・ソーセージ事業の再編成と、グループ各社の協体制の下、新製品の開発と販売促進に取り組みました。国産牛の輸出に関しては、本年度新たに解禁となった台湾への輸出を開始するなど、着実に実績を重ねてまいりました。

食肉等の小売事業においては、既存店活性化、新規ディベロッパーへの出店、新店の立ち上げや新業態店舗への取り組み、バックセンターの新設を行うとともに、不採算店の閉鎖を実施し収益力改善を図ってまいりました。また、さらなる競争力向上のための人材開発等施策にも取り組み、より専門知識を持った従業員育成のための肉のマイスター制度の定着化、パートアルバイトスタッフの教育制度の充実、作業オペレーションの改善等を実施しております。また各種イベントに沿った提案型の販売は、全店が参加の上、情報を相互に共有し、より効果的な提案の実現を図ってまいりました。

食肉等の外食事業においては、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業とステーキレストランチェーン事業のそれぞれにおいてメニュー及び料金の改定や店舗リニューアル等、競争力向上のための施策を実施するとともに、不採算店の閉鎖を実施し、収益力向上を目指しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,164億1千1百万円(前連結会計年度比12.5%増)、営業利益は109億5千9百万円(前連結会計年度比3.8%増)、経常利益は114億8千2百万円(前連結会計年度比5.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は77億6千万円(前連結会計年度比19.4%増)と増収増益になりました。

今後の見通し

平成31年10月に消費税の引き上げが予定されておりますが、東京オリンピックに向けた景気刺激要因などにより、当面日本経済は上向きに推移すると思われれます。ただ、食肉業界においては、それらは調達難や競争激化の要因でもあり、個々の企業に関しては厳しい環境での経営を強いられることが予想されます。このような環境下、当社は既存事業の経営安定化とグループ内での協業強化を図りつつ、新規事業によるグループ基盤の拡大に取り組んでまいります。

食肉等の製造・卸売事業においては、近年世界的な人口増加や第三国の経済発展などにより、国際的な食料資源競争激化が顕在化しつつあり、食糧安全保障の観点からも、食肉業者としての責任は重大と認識しており、川上部門の強化を最重要施策と捉え、原料調達ルート確保に取り組んでまいります。また、当社独自の商品については、差別化を図り、

ブランド価値を高めて収益の拡大につなげたいと考えており、今後の成長戦略を実現するための営業や生産・製造の拠点開発にも努めてまいります。その一環として、千葉県船橋市において、首都圏での営業力強化を狙った製造・卸・流通機能を統合した拠点開発を行っております。製品事業においては、「こてっちゃん」シリーズの知名度の高さを生かしたマーケティング戦略により、販売力の底上げを図ってまいります。グループ企業それぞれの強みを生かし、グループ内企業の垣根を越えた協力関係を促進し、従来攻め切れていなかった販売チャネルへの浸透を進めてまいります。

グループ内で製品加工事業を行う企業が増えており、グループ横断的な品質保証体制を構築することで、得意先及び社会からの食品に対する安心安全への要求に応えてまいります。食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化、新店開発、不採算店閉鎖を継続すると同時に、人材開発のための諸施策や、各種イベントに沿った提案型販売を更に強化してまいります。また、これまで別々の組織として運営されてきた精肉小売と惣菜



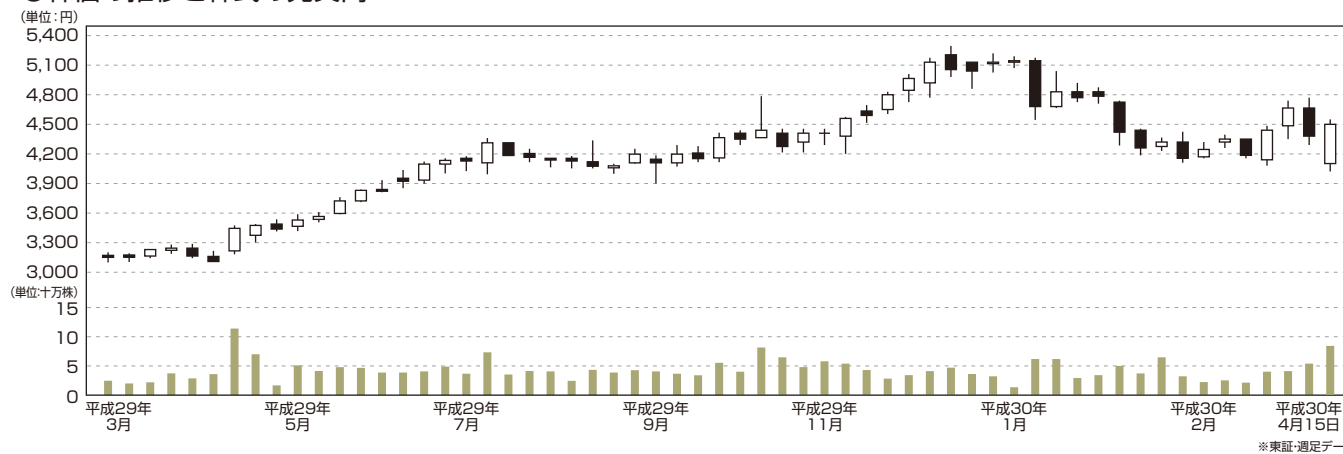
こてっちゃんコク味噌コンシューマーパック

小売を統合することにより、両事業のコラボレーションによるさらなる成長と、より効率的な運営を図る予定であります。

食肉等の外食事業においては、従来からの着実な採算重視の経営を維持しつつ、ステーキレストラン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業を競争力を持たせながら着実に運営するとともに、新店の開発にも注力する計画であります。

グループ経営の向上については、グループ企業が増え従業員数、事業領域ともに拡大していることから、グループの一元管理体制を構築してまいります。また、ワークライフバランス推進に向けた取り組みとして、エスフーズの企業風土にふさわしい働き方改革を進め、従業員にとっての魅力ある職場作りを

●株価の推移と株式の売買高



実現するとともに、経営効率の改善を目指してまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高3,500億円(前連結会計年度比10.6%増)、営業利益120億円(前連結会計年度比9.5%増)、経常利益125億円(前連結会計年度比8.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益82億円(前連結会計年度比5.7%増)を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。更に、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

期別 区分	第50期 平成28年2月期	第51期 平成29年2月期	第52期 平成30年2月期	第53期見通し 平成31年2月期
売上高	242,566	281,233	316,411	350,000
営業利益	8,428	10,555	10,959	12,000
経常利益	8,795	10,843	11,482	12,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,086	6,499	7,760	8,200
総資産	114,330	134,271	156,649	
純資産	54,844	64,524	86,552	
1株当りの年間配当金	32円	35円	43円	56円

単位:百万円(配当金を除く)